

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	療育センター アルテ 1 s t			
○保護者評価実施期間	2025年3月14日 ~ 2025年3月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年3月14日 ~ 2025年3月24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員が常駐しているため、お子様それぞれに合った個別リハビリを受けることができる。	お子様一人ひとりに合った計画書の作成・訓練を行っています。	ご利用日数に応じて訓練回数の割合に差が出ないように、均等に訓練を行うようにしている。
2	長時間のご利用が可能。	11:30~17:30でのご利用が可能で、食育につながる昼食指導や午睡を行っており、生活リズムを作ることが出来ます。	就園・就学に向けて、一日の中で決まった流れの中でお片付けや手洗い、トイレトレーニングなど生活面の支援を行っている。
3	お子様に合わせて、楽しめるプログラムを毎日日替わりで組んでいます。	「午睡をするお子さんと、午睡が必要なくなったお子さん」「小さいお友達と大きいお友達」のように活動状況に合わせて複数のプログラムを立てニーズに合わせて充実した活動内容を提供できるように工夫をしています。	就園・就学に向けてしっかりと座る、お話を聞くなど要素を持ったプログラムを実施しスムーズな移行を目指して支援を行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午睡をしているお子様については、睡眠時間確保のために活動数が少なくなってしまう。	心身の発達や生活リズムを安定させるために午睡は必要なものと考えています。そのため午睡時間をなくすことが出来ない現状があります。活動時間を確保する為に営業時間を伸ばす事は現状難しいため大きな変更を行う事は難しい。	午睡時間を削ることなく活動を充実していくよう時間割の見直しや活動内容の工夫を日々行っています。午睡が必要な年齢ではあるが、午睡を取る事がむずかしく活動への参加希望のある方は、臨機応変に対応するよう意識している。
2	交通量が多い場所に事業所が位置しているため、送迎時に時間のズレが生じてしまう。	交通量の多い時間帯と送迎時間とがかさなってしまうこと。	距離と実際にかかる時間を想定して、出発時間を考えて取り組むことが必要。
3	職員の人数の関係により、常にお子様一人ひとり1対1での関りが難しい。	人員配置基準の関係上。	主に活動などでは、生活年齢や発達年齢に合わせたグループ分けを行い、お子様にストレスがかかりにくくなるような環境設定を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名	療育センターアルテ1st
------	--------------

公表日 2025年 5月 1日

利用児童数 20名

回収数 11名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	72.70%	0.00%	0.00%	27.30%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36.40%	18.20%	18.20%	27.30%	1月から職員の方がガラッと変わり少なくなったと感じる。連絡帳の記載時間も遅く、職員不足から記載時間の確保が困難かと感じる。	職員の人数については、配置基準は満たしております。連絡帳の記載時間につきましては、プログラム等を今一度見直し、早く記載できるように取り組みます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	45.50%	18.20%	0.00%	36.40%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	54.5%	18.20%	0.00%	27.30%	靴下の裏がよく汚れています。	感染症対策の為季節を問わず窓を開け換気を行っています。近くに小学校があり、小学校のグラウンドから巻き上がる砂塵などの影響で床が汚れているものと思われます。砂ぼこり対策として掃除機をかけ、拭きを行っていますが一日活動を行いますと汚れが析出てしまいます。お子様にしましては、現在施設内では素足で過ごされている為足裏が汚れてしまう事がありますのでご帰宅前に足の裏をウェットティッシュ等で汚れの拭き取りを行っておりまます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	54.50%	18.20%	0.00%	27.30%	作業療法士の方が介入されたとのことですが、支援内容が不透明なため内容をもう少し開示していただけると嬉しいです。	作業療法士の介入につきましては、随時モニタリングでの支援内容の説明を行っております。また個別の計画を確認いただけた方から順次リハビリを行っております。実施したリハビリについてはエコルドリンク内の連絡帳をご確認ください。 また、活動時に使用しているプリントや運動器具の使用方法など療法士から指導があったり、相談したりしながら対応しています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	72.70%	9.10%	0.00%	18.20%		
適切な支援の提供	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	72.70%	18.20%	0%	9.10%	聞き取りは丁寧にしてくれるが、児童発達支援計画書の説明がない。	説明が不十分で申し訳ありません。個別支援計画については聞き取り時に方向性をお伝えして支援内容をお伝えしております。計画書交付時に聞き取り内容と差が無いか書面をご確認いただき、ご質問が無ければ同意をいただけた物として対応しております。思われていた内容と異なる等がありましたらご質問頂けますようお願い致します。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90.90%	0.00%	9.10%	0.00%		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	81.80%	9.10%	0.00%	9.10%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	63.60%	9.10%	0.00%	27.30%		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	36.40%	9.10%	36.40%	18.20%		

		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）				
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	90.90%	0.00%	9.10%	0.00%		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27.30%	27.30%	18.20%	27.30%		
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	72.70%	9.10%	0%	18.20%	保護者から聞けば対応していただけるが、事業所発信は少ないように感じる。利用者や先生が感染症にかかったら細かく情報を提供してくれる。	児童の健康状況などは当日の連絡帳にて情報共有をいただいております。発達状況については、定期的な聞き取りなどができるよう改善を行います。
保護者への説明等	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	72.70%	0.00%	9.10%	18.20%		
	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	81.80%	0.00%	18.20%	0.00%		
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9.10%	36.40%	18.20%	36.40%	クリスマス会のみだと思う。	イベント等の企画については、開催等を今後検討していきます。
	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	81.80%	0.00%	18.20%	0.00%		
	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	81.80%	9.10%	9.10%	0.00%		
	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	72.70%	0.00%	27.30%	0.00%		
	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	63.60%	9.10%	9.10%	18.20%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	54.50%	18.20%	0.00%	27.30%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	54.50%	18.20%	0.00%	27.30%	職員の配置人数が安全を確保できる適切な配置なのかはやや疑問を感じる。	お子様の安全につきましては、環境設定および職員間のコミュニケーションを徹底して行っており、事故のリスクを最小限にできるよう努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	81.80%	0.00%	0.00%	18.20%		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	90.90%	0.00%	0.00%	9.10%		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	63.60%	9.10%	0.00%	27.30%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	72.70%	9.10%	0.00%	18.20%	新体制になってから、LINEの返事が遅れていて、ときどき不安になります。先生方みなさん優しいです。	公式LINEの返信につきましては、返信頻度向上のために業務改善を検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		療育センターアルテ1st				
		公表日 2025年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83.30%	16.70%	発達年齢によって複数の部屋にお子さんを分けて少人数で活動などを行っている。また、活動性が大きくなる年長や小学生には狭く感じる事があるかもしれません。そのため、座った状態での鬼ごっこを行うなどしてしっかりと身体を動かしたと感じる事が出来る工夫を行いスペースを有効に使用しています。	年長や小学生には狭く感じる事がある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	66.70%	33.30%		2人以上当日職員が休むと難しい時がある
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50.00%	50.00%	建物の構造上玄関のバリアフリー化が難しい。車いすの利用などで玄関からの入室が難しい場合には歩道につながる窓にスロープを設けている為そちらからの入室を行う予定です。	バリアフリー化では、玄関を改善したほうが良い。また、視覚的な支援をより増やしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	66.70%	33.30%	感染症対策の為季節を問わず換気を行つてはいるが土ぼこりがはいりやすい状況になっています。活動の最後に足の裏を拭き清めるなどの対応を行いご家庭にはこりを持ち帰らないよう意識しています。	掃除は行っているが、小学校が近くグラウンドの砂ぼこりが原因と思われる汚れが利用者の足の裏についている事がある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83.30%	16.70%		

		公表	事業所における自己評価結果（児童発達支援）			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	66.70%	33.30%	職員からの業務改善案で実現可能な事から対応しています。限られた人員と時間の中で改善を進めている事や、意見が上がったことにつなげるための事前の改善などが必要な事から、職員から上がってきた改善案にたどり着けるようなPDCAの構築を設けています。	業務改善等の意見を出しが、改善にならないことがある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%	0.00%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83.30%	16.70%	職員からの業務改善案で実現可能な事から対応しています。限られた人員と時間の中で改善を進めている事や、意見が上がったことにつなげるための事前の改善などが必要な事から、職員から上がってきた改善案にたどり着けるようなPDCAの構築を設けています。	意見を出しても、改善見込みがなく、問題解決に至らないことがある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40.00%	60.00%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83.30%	16.70%		

		公表	事業所における自己評価結果（児童発達支援）		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.00%	0.00%	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.00%	0.00%	
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83.30%	16.70%	朝礼時に前日の振り返りと共に気になるお子さんの情報共有を行っております。また常にお子さんがいる状況の為会議を行う事が難しいため書面による聞き取りと回答を行い理解を進められるよう意識しています。 会議の時間が少なく、深くまで話し合いができるていない。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.00%	0.00%	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.00%	0.00%	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.00%	0.00%	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.00%	0.00%	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.00%	0.00%	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.00%	0.00%	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.00%	0.00%	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	66.70%	33.30%	勤務時間、送迎時間の兼ね合いで振り返りの時間、人数を確保し振り返りを行う事が困難である。そのため翌日の朝礼時に前日の振り返りを行っています。 1日の振り返りは行えていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.00%	0.00%	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.00%	0.00%	

事業所における自己評価結果（児童発達支援）						
		公表	事業所における自己評価結果（児童発達支援）			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.00%	0.00%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	66.70%	33.00%	必要がある場合は密に連絡を取り合い情報を交換して連携支援を行える体制を取っています。また事業所のグループ内に訪問看護を設けておりご家族の許可を頂き、必要に応じて情報交換を行っています。	機会は少ない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	66.70%	33.30%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50.00%	50.00%	個人情報保護の観点から保護者、小学校からの依頼で情報共有や情報提供を行っておりますが、令和7年はご希望がありませんでした。	保護者様を通しての情報共有が多い。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16.70%	83.30%		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	33.30%	66.70%		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	33.30%	66.70%		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	66.70%	33.30%	保護者のご希望や相談支援員さんの勧めでスーパーバイズを受けています。	機会は少ない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50.00%	50.00%	ご利用のお子さんが幼稚園や保育所を終了してから利用される方が多いこともあり施設に出向いての交流はありません。屋外で活動する際に地域のお子さんと一緒に過ごす機会がある為外出した際には地域のお子さんと関わりが持てるよう意識しています。	機会は少ない。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.00%	0.00%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83.30%	16.70%		

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

			事業所における自己評価結果（児童発達支援）			
			回答数	割合	得点	評価結果
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	66.70%	33.30%	契約時にや報酬改定時に説明を行ったり報酬改定の情報を提示しています。その際ご質問がある方には個々に対応しております。	説明不足を感じる点がある。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.00%	0.00%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.00%	0.00%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.00%	0.00%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	66.70%	33.30%		機会は少ない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83.30%	16.70%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.00%	0.00%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.00%	0.00%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.00%	0.00%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33.30%	66.70%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.00%	0.00%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83.30%	16.70%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.00%	0.00%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.00%	0.00%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.00%	0.00%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.00%	0.00%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.00%	0.00%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00%	0.00%		
	53	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	100.00%	0.00%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	83.30%	16.70%		

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	66.70%	33.30%	契約時にや報酬改定時に説明を行ったり報酬改定の情報を提示しています。その際ご質問がある方には個々に対応しております。	説明不足を感じる点がある。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.00%	0.00%		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.00%	0.00%		
保護者への説明等	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.00%	0.00%		
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	66.70%	33.30%		機会は少ない。
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83.30%	16.70%		
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.00%	0.00%		
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.00%	0.00%		
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.00%	0.00%		
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33.30%	66.70%		
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.00%	0.00%		
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83.30%	16.70%		
非常時等の対応	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.00%	0.00%		
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.00%	0.00%		
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.00%	0.00%		
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.00%	0.00%		
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.00%	0.00%		
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00%	0.00%		
	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	100.00%	0.00%		
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	83.30%	16.70%		